

## 《札幌市手稲区区長賞》



あなたの心情、変えて見せます

新陵中学校 3年 前田 沙優

あなたは、生まれ変わりを信じますか？もちろん、そのような事は物理的に不可能であると思います。ですが、犯罪者が、一人の人間が正しく生まれ変わる事は、不可能では無いと、私は信じています。

日本の再犯率は、約六十パーセントとなっています。「再犯」とは、一度罪を犯した人が再び罪を犯すことを言います。では、出所者なぜ犯罪を繰り返してしまうのでしょうか。それは、社会に出たとしても、「前科者」という肩書を背負っているだけで、差別をされたり、偏見に見せかけた悪口を言われたりして、まじめに更生しようとしてもできない環境におかれているからです。私は、罪を犯してしまった人も悪質だとは思いますが、真剣に更生に向き合っている人間に対して、いつまでも罵声を浴びせている人の方が、よっぽど悪質だと思います。私達のこれからの未来のためにも、大きな過ちを犯してしまった事を深く反省し、監獄での生活を乗り越えてきた経験のある人に活躍の場を積極的に提供していく事が何よりも大事な事だと思います。そうすれば、罪を犯してしまった人にも、社会復帰に向けて輝かしい希望が見えてくると思いますし、結果的に、再犯をする人が減少していくと思います。皆さんも、「この人、前科者なの？なんか不安だな・・・。」思うのでは無く、見方を九十度変えて、静かに見守り、そして受け入れてあげましょう。人が再犯を犯す原因は、私達が人に勝手な想像を持ってしまっている事かもしれませんからね。

そして、犯罪・非行のない社会はどのようにつくっていけば良いのか。私は、学校で小さい内に窃盗や暴行、詐欺など被害者になって体験してみたり、逆に加害者側の立場で体験したりしてみると、被害を受けた人がどのような気持ちになるのかが分かると思います。こんな風に、誰かの立場になって考えたり、自分の気持ちを正直に伝えられる

よくなったりと、子供の道徳心や想像力などを養う事ができるので、今後の社会の中で、強力な即戦力になってくれるのでは無いかと思います。また、小さい内から被害者側の訓練などを体験しておく事で、この時に感じた事を頭に植え付けられるので、将来的に犯罪を犯すことのリスクを減らすことができると思います。私なら、これらの体験をした子供の立場になった時、トラウマを背負うことになるかもしれません。ですが、そのトラウマを背負って生きていくことで、より、精神的にも強い人間が形成されていくのでは無いかと思っています。

では最後に、前科者に対する、世の中の態度についてお話したいと思います。皆さんは、前科者と犯罪者の違いはわかりますか？前科者というのは、元犯罪者です。その人に対して、絶対的な信頼があるとは言い切れませんが、犯罪者ではありません。私たちと同じ、ただの人間です。世俗の人々は、「前科者は何をするか分からない、できる限り関わりたくない」という風に思っている方がたくさんいるでしょう。日本はとくに、前科者に対する差別や偏見が激しい国です。なぜ、一人の人間を差別する必要があるのですか？それによって正義感や快樂を感じられていると言うのなら、あなたは犯罪者同然です。犯罪者になりたくないと言うのなら、今すぐにでも差別・偏見をやめて、互いを認め合う、素晴らしい社会を築いていきましょう。

